



Showa Manufacturing Co.,Ltd.

第94期 報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

SHOWA

快 適 環 境 の 創 造 に 挑 戦 す る



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの熊本地震により被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社グループは平成28年3月31日をもちまして、第94期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長 福田 俊仁

本業回帰で筋肉質な企業体 「事業の選択と集中」、「差別化

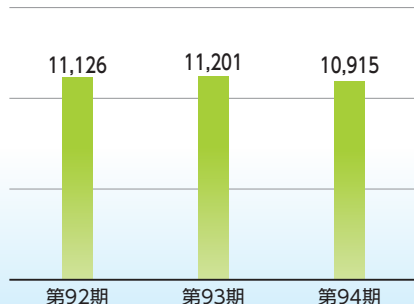
Q 第94期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、大胆な金融政策や機動的な財政政策により雇用・所得環境が改善し、また原油価格の低下等で交易関係が持ち直すなど穏やかな回復基調が続いてきました。一方で中国をはじめとする新興国の景気減速の影響等により輸出が弱含み、個人消費や民間設備投資の回復に遅れも見られる状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、経営体制の変更を行い、新中期経営計画の一部を見直し、新たに「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」を掲げ、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に

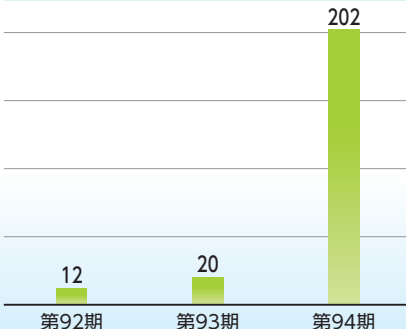
売上高

(単位：百万円)



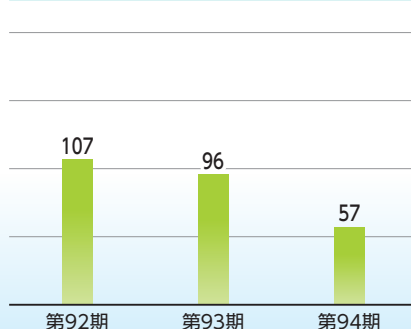
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



質を実現するため、引き続き重点課題である 新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

連結売上高営業利益率3%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

Q 第94期の業績についてお聞かせください。

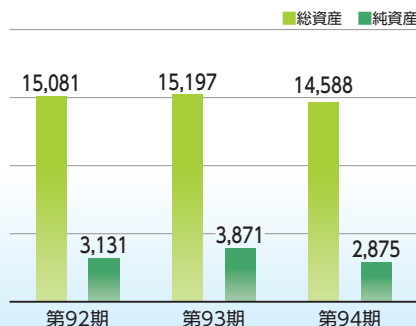
当連結会計年度の当社グループの売上高は109億1千5百万円(前連結会計年度比2.6%減)、受注高につきましては127億1千1百万円(同比14.9%増)となりました。

損益面では、売上高はほぼ前年度並みでありましたが、原価改善や固定経費削減に努めたことにより、経常利益は2億2百万円(前連結会計年度比907.6%増)となりました。

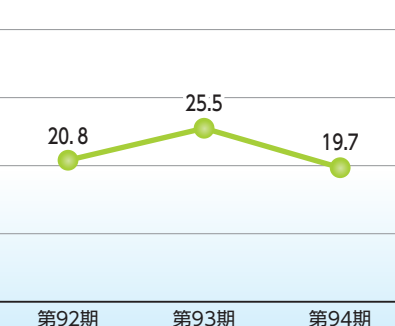
また、特別利益に投資有価証券売却益6千6百万円、特別損失に関係会社株式売却損1億4千2百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は5千7百万円(前連結会計年度比41.2%減)となりました。



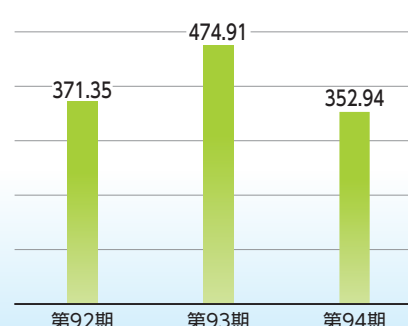
総資産・純資産 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



1株当たり純資産 (単位: 円)



Q事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器及び熱源機器の売上が全般的に低調に推移しましたが、環境機器は特に電気ヒーターの売上増加により好調に推移しました。また、サーモデバイス機器は液晶パネル製造用熱処理炉の売上が大きく伸びたことにより好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は66億9千5百万円(前連結会計年度比0.1%減)、受注高は85億1千2百万円(同比30.0%増)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、精密鋳造品の売上は好調に推移しましたが、公共工事の減少により景観製品の売上が減少しました。

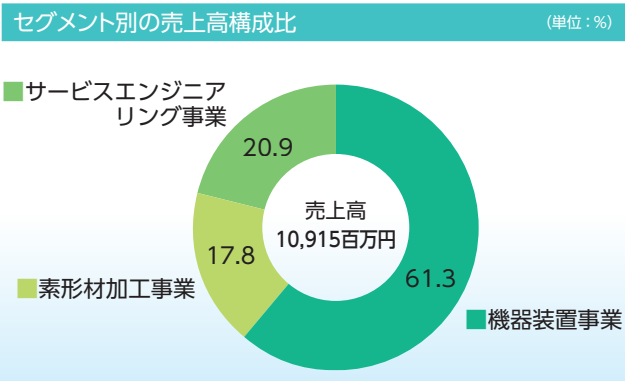
その結果、当事業の売上高は19億4千万円(前連結会計年度比0.9%減)、受注高は17億4千9百万円(同比19.6%減)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービス及びリニューアル工事は好調に推移しましたが、大型案件の減少により設備工事の売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は22億7千9百万円(前連結会計年度比10.3%減)、受注高は24億4千9百万円(同比4.6%増)となりました。

セグメント別の売上高・受注高		(単位：百万円)
	売上高	受注高
■ 機器装置事業	6,695	8,512
■ 素形材加工事業	1,940	1,749
■ サービスエンジニアリング事業	2,279	2,449
合計	10,915	12,711



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、円高・株安の進行や世界経済減速懸念の高まりで、企業収益の減少による設備投資の抑制、賃上げ率の鈍化による消費マインドの減退など下押し圧力が強まり、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

平成28年度は、平成31年度を最終年度とする中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」をさらに追求し、4年以内に連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上の必達を目指し、引き続き重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第94期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき5円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

創業時から研鑽してきた熱の技術を改めて中心に据え直し、技術の進化と深化を目指すとともに、これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



URBANEX[®]横断防止柵FOタイプが
「バスタ新宿」に採用!

今春、新宿駅南口地区に鉄道駅や高速バスターミナル、タクシー乗降場などを集約した日本最大級の交通ターミナル「新宿南口交通ターミナル(愛称:バスタ新宿)」が開業しました。

施設内部や周辺の甲州街道には当社のダクタイル鋳鉄製横断防止柵アーバネクスシリーズFOタイプが採用されています。洗練された当社のデザイン柵は多数の設計者に高い評価をいただいております、今や東京をはじめとする大規模整備には欠かせないものとなっています。



バスタ新宿内にはホワイトにカラーリングされた縦格子式のFOタイプ



日本最大級の交通ターミナル「バスタ新宿」



バスタ新宿前の甲州街道にはシャンパンゴールドのFOタイプ

当社が力を入れて開発に取り組んだヒートポンプ技術を採用した空調製品と給湯製品です。



業界トップクラスの
コンパクト設計！

ますます省エネ！

ヒートポンプ式 & 高性能プラグファン標準搭載

立形ルーフトップ外気処理機

CareFresh

ケアフレッシュ

**HEAT PUMP
SOLUTIONS**
For Comfort & Energy-Saving

給湯も空調も
ヒートポンプで

快適
& 省
エネ

“システム全てが自社製”の総合力！

業界初

密閉式大容量給湯循環システム

SHOWA
業務用

エコキュート

モデルチェンジ！
自社製ヒートポンプ

+

密閉式
大容量
貯湯槽

ハイ
ブリッド
熱源

OPTION

学習
機能



連結貸借対照表

科目	当期 平成28年3月31日現在	前期 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	9,069	8,124
現金及び預金	3,545	2,506
受取手形及び売掛金	3,080	3,495
電子記録債権	278	211
有価証券	400	600
たな卸資産	1,703	1,214
その他	64	99
貸倒引当金	△3	△4
固定資産	5,518	7,073
有形固定資産	2,531	2,572
建物及び構築物	589	557
機械装置及び運搬具	268	236
土地	1,581	1,581
建設仮勘定	4	89
その他	86	107
無形固定資産	43	41
投資その他の資産	2,943	4,459
投資有価証券	2,415	3,854
その他	555	631
貸倒引当金	△26	△26
① 資産合計	14,588	15,197

① 総資産

前期末に比べ6億9百万円減少し、145億8千8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金10億3千8百万円、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)4億8千9百万円が増加した一方で、受取手形及び売掛金4億1千5百万円、投資有価証券14億3千9百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ3億8千6百万円増加し、117億1千3百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債3億4千2百万円が増加したものです。

③ 純資産

前期末に比べ9億9千6百万円減少し、28億7千5百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金4億1千5百万円、退職給付に係る調整累計額4億2千1百万円が減少したものです。

科目	当期 平成28年3月31日現在	前期 平成27年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	8,299	8,069
支払手形及び買掛金	2,875	2,642
短期借入金	4,420	4,420
未払費用	448	426
未払法人税等	67	17
設備関係支払手形	41	61
その他	445	500
固定負債	3,413	3,256
長期借入金	850	870
退職給付に係る負債	2,175	1,832
繰延税金負債	41	187
その他	347	367
② 負債合計	11,713	11,326
(純資産の部)		
株主資本	3,276	3,325
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	556	605
自己株式	△147	△146
その他の包括利益累計額	△400	545
その他有価証券評価差額金	135	550
為替換算調整勘定	109	219
退職給付に係る調整累計額	△646	△225
③ 純資産合計	2,875	3,871
負債及び純資産合計	14,588	15,197

連結損益計算書

科目	当期 自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日	前期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日
④ 売上高	10,915	11,201
売上原価	8,423	8,636
売上総利益	2,491	2,565
販売費及び一般管理費	2,280	2,562
⑤ 営業利益	211	2
営業外収益	193	115
営業外費用	202	97
⑤ 経常利益	202	20
特別利益	66	102
特別損失	142	—
税金等調整前当期純利益	126	122
法人税、住民税及び事業税	69	25
当期純利益	57	96
⑤ 親会社株主に帰属する当期純利益	57	96

④ 売上高

平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上を実現するため、「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。その結果、当期における当社グループの売上高は109億1千5百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

⑤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高はほぼ前年度並みでありましたが、原価改善や固定経費削減に努めたことにより、営業利益は2億1千1百万円(前年同期比8,714.4%増)、経常利益は2億2百万円(前年同期比907.6%増)となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益6千6百万円、特別損失に関係会社株式売却損1億4千2百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は5千7百万円(前年同期比41.2%減)となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は3億7千1百万円(前年同期は4億3百万円の支出)となりました。主な要因は、売上債権の減少額3億4千8百万円、仕入債務の増加額2億3千3百万円及び減価償却費1億5千6百万円による増加と、たな卸資産の増加額4億8千9百万円による減少です。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日	前期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	371	△403
投資活動によるキャッシュ・フロー	716	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△133
現金及び現金同等物の増減額	1,011	△601
現金及び現金同等物の期首残高	2,440	3,042
現金及び現金同等物の期末残高	3,452	2,440

Corporate Information

会社情報

(平成28年3月31日現在)

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎五頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	316名(連結367名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県粕屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県粕屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

役員

(平成28年6月28日現在)

取締役・監査役

代表取締役	福田 俊仁
取締役	村山 正巳
取締役	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳
取締役	板並 隆一
取締役	永利 新一
監査役(常勤)	山根 譲治
監査役	吉田 泰彦
監査役	村上 英之

執行役員

社長CEO	福田 俊仁
執行役員	村山 正巳
執行役員	鍋山 敏郎
執行役員	倉岡 淳
執行役員	板並 隆一
執行役員	一木 和弘
執行役員	鈴木 善廣
執行役員	日野 宏昭
執行役員	平田 清

株式の状況

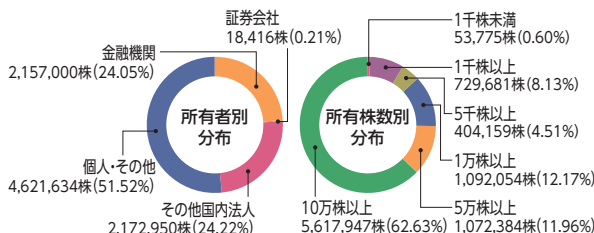
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	825名

大株主

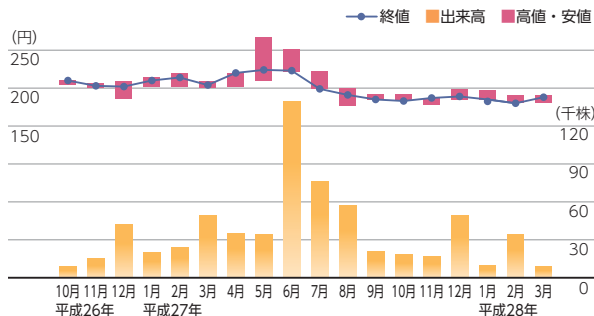
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	401,500	4.92
株式会社西日本シティ銀行	400,000	4.91
株式会社北九州銀行	357,500	4.38
西部瓦斯株式会社	345,000	4.23
西日本鉄道株式会社	291,000	3.57
飯田卓子	282,114	3.46
飯田久泰	267,000	3.27
稲田好美	198,135	2.43
日本乾溜工業株式会社	197,000	2.41
福岡商事株式会社	192,000	2.35

(注)持株比率は、自己株式(823,752株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主総会の招集地	福岡市
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

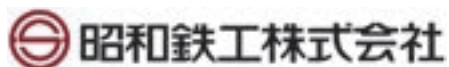
<http://www.showa.co.jp/>

●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

●IR情報トップ画面



〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。